



ときめけ！ 有年っ子

赤穂市立有年小学校
赤穂市西有年2853番地
TEL 0791-49-2081
発行者 西村 博子

新学期が始まって一週間。残暑の厳しい中で、長い夏休みから学校生活にリズムを切り替えてはいるものの疲れも出やすい時期です。

よく「新学期は、子どもも親も疲れやすい」といわれます。今、有年中学校区で「早寝・早起き・朝ご飯運動強化週間」にも取り組んでいます。心と体のバランスを保つポイントをいくつかご紹介します。

①朝の「ひとこと」で切り替える

→「おはよう」「今日も元気にいってらっしゃい」と、笑顔であいさつをして安心感とエネルギーを増やしましょう。

②会話を楽しむ、会話から気付く

→子ども達の今日一日の出来事やがんばったことに目を向けて、共感しましょう。「どうしたの？」と聞くよりも「なんか疲れてる？」で気持ちを引き出しやすくなります。

③決まった時間に寝る

→睡眠不足にならないよう、決まった時間に寝ることを家族のルールにしてみてもいいです。

④ゆったりできる時間をつくる

→好きなことをする「ひとり時間」やがんばりすぎない「のんびり時間」を作り、心を整える時間を大切にしましょう。週末のお楽しみを用意するのもいいですね。



6年生小中連携授業研究

9月5日（金）に有年中学校区小中連携授業研究があり、6年生の国語科「柿山伏」の授業を有年中と原小の先生に観ていただきました。

6年生の国語科では、「古典」に親しむ単元があり、ここでの学びを中学校での学習につなげていきます。「柿山伏」は古典芸能の一つ「狂言」です。何もないところにあたかも実在するかのように演じ、講じる狂言は、当時の人々には喜劇ととらえられていました。今ではあまり使わない言い回しも、子ども達には新鮮に感じられる学習です。

6年生は、持ち前の表現力で自分たちが感じた場面の様子を動作や声の調子、表情で豊かに表現していました。

この学習を機会に、古典芸能のおもしろさに気付いたことでしょう。また、中学校へ向けての意欲も高まったと思います。



学校運営協議会報告

9月5日（金）に第2回学校運営協議会を開催しました。

「学校運営協議会」とは、コミュニティ・スクールの取組を推進するために、学校運営の基本方針を承認し、学校運営や教育活動について意見を述べることができる組織であり、学校と保護者や地域の皆様がともに知恵を出し合い、学校運営への参画と協働を進めることにより、双方向の信頼関係を深め、子ども達の豊かな学びと育ちを創造することを目的としています。

これまでも「地域とともにある学校づくり」をめざし、さまざまなご意見をいただき学校運営に反映させ、特色ある学校づくりを進めてきました。

今回の協議会での協議内容を報告させていただきます。



<協議内容>

①活動報告（4月～8月）

②1学期学校評価について

→学校コミュニティの取組は高評価。国際理解教育や福祉教育の取組が低評価であったが、行事だけでなく普段の教育活動で行っていることにつながりがあるという意識で取り組んでいきたい。

③令和7年度全国学力学習状況調査の結果について

→国語・算数・理科どれも全国平均・県平均を上回った。基礎基本の定着や読解力の向上を各学年の取組でめざしていく。

④2学期以降の学校教育活動について

⑤学校規模適正化・適正配置について

→これまでの学校運営協議会での協議を踏まえ、令和7年7月15日に有年地区連合自治会より市長に「有年小学校学校統廃合反対に関する要望書」を提出。引き続き、有年小学校の特色づくり、有年地区の活性化について取り組んでいく。

⑥学校における働き方改革について

→兵庫県では、子ども達の未来に向けて、質の高い教育を実現するため、学校における働き方改革を推進しています。その中で、適切な授業時間数の見直しにも取り組んでおり、本校も次年度に向けて週時程の見直しに取り組んでいます。

（＊詳細が決まりましたら、本年度内にお知らせします。）

⑦コミュニティ・スクールの活動について

→学校・家庭・地域のそれぞれの「強み」を生かしての学校運営への参画・協働について話し合いました。子ども達と保護者、地域の皆様の笑顔あふれる活動（名付けて「プロジェクトU（有年のU）」）を工夫したいと思います。

（例）昔遊び交流、さまざまな職業の話を聞くキャリア教育、PTA親子ゲーム、もっとスポクラ、ブックサポーター など

＊このほかにも、「ふるさと有年学習」に取り組んでいきます。



今後とも本校教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

